

目次

1. センター試験のツボ	1
(1) センター試験の問題点	1
(2) スキミングと精読について	1
(3) センター第6問対策	2
(4) 音読のススメ	3
(5) 英文を読むときの注意	4
(6) 英文法・語法を強化する	5
(7) 長文に慣れる	7
(8) 東大英語過去問演習のススメ	7
2. センター英語の解法視点	10
(1) センター英語の解法視点その①	10
(2) センター英語の解法視点その②	12
(3) センター英語の解法視点その③	17
(4) センター英語の解法視点その④	17
3. センター英語の実戦的解法	18
(1) 2008年本試験大問6 (その1)	18
(2) 2008年本試験大問6 (その2)	21
(3) 2009年本試験大問3C (その1)	23
(4) 2009年本試験大問3C (その2)	27
(5) 2011年本試験大問6	31
(6) 2012年本試験大問6 (その1)	36
(7) 2012年本試験大問6 (その2)	39
(8) 2013年追試験大問4 グラフ解法	40
(9) 2013年追試験大問6 (その1)	44
(10) 2013年追試験大問6 (その2)	45

1. センター試験のツボ

(1) センター試験の問題点

①時間に対して量が多い⇒⇒ゆっくり検討している時間がない

②選択肢は、巧妙だけど、はっきり白黒つけている

この2点で、簡単な単語、熟語、しか使えないのに、点差がしっかりつくのです。

①に関しては、

「精読とスキミングを駆使して、情報を検索しながら、必要なコトを正確にとらえる」練習をすることで解決します。

②に関しては、

- ・選択肢を本文みたいにアバウトに読むと、ヤラレルことを意識する
 - ・設問のリード文を正確に読解していないと、答える必要のない情報にまどわされる
- ということに気をつけて練習に取り組むことで改善されていきます。

くれぐれも、

模試レベルが解けるからといって油断しないでください(センターは巧妙ですよ！)

(2) スキミングと精読について

(1)でスキミングと精読を駆使する、ということを書きました。

スキミングって何？と思われた人に少しばかりの説明を…

「スキミング」=必要な情報を探しながら、拾い読みをしていき、必要な箇所を見つけたら、しっかり精読して、情報をつかむ。

ということです。

ということは、

精読できないと、結局、最後はスキミングする意味がなくなりますね。

というわけで、精読(きちんと英語の構造をとらえ、適切な訳語をあたえて、ていねいに詳しく読むこと)の方法について、考えたいと思います。

センター英語の問題をまず解いて、だいたい60パーセント以上分かる人は、精読のやり方をしめた数ある参考書に手を出してもかまわないでしょう(ただし、以下を読んでからにしてください)。

ぜんぜん分からない…と感じた人は、まず、単語、熟語、文法のお勉強をしてください。

武器がなさすぎです。

金槌でまともに釘を打てない人は、家を建てられるわけじゃないじゃないですか！

だから、道具をマシなレベルにもって行ってください。

そして、ここからが本題です

「少し分かってきたぞ、だいたい分かるぞ！」のゾーンが実は、一番危ないのです。

本当に訳せているのですか？

9割以上の高得点を取る人は、全文キチンと訳せますよ！

もちろん、あたまから、訳して読んでいますけど、「まともな日本語にしろ」って言われたら。キチンと訳せます。

フィーリングなんかで、絶対読んでいませんから。

だから、**訳す練習をしてください。**

何を？

センター試験の過去問をです！

最強の精読練習になります。

実は、センターの英文には、受験生が身につけて欲しい、単語、熟語、構造、文法など、「これでもか」ってくらいふんだんに盛り込まれています。

学校の授業できちんと精読練習をするのに使えば、学力が飛躍的に伸びるのに…

って、いつも思われるくらい、お手本みたいな教材なのです。

普通の解釈本は、特殊性の強い、言い換えればマニアックな内容まで盛り込まれており、単語レベルもムダに高かったりして、練習効率がちょっと悪いと思います。

センターを、設問のリード文や、選択肢にいたるまで、きちんと訳してください(受験ネタ満載ですよ)。

河合塾の解説(黒本)には、多いなあ、ってくらいの語句のリストなんかがついていますので、見直しもラクだと思います。

訳を見ながら、赤で書き直すヒマがあったら、なぜそんな訳になるのか考えてください！！

作業で終わらせて、アタマ使わなかったら、正直、効果ゼロです。

センター受けるなら、センターをもっと知りなさい。

(3) センター第6問対策

「長すぎて、時間が足りないんですけど、どうしたらイイですか？」

「長いものを短くすればイイのですよ！」

ん？長いものを短くする？

具体的には…

センターは段落ひとつに、ひとつの設問をつけます。

だから、

設問のリードを読んで、4つの選択肢をすべて読んで、それから、該当箇所を上段落からサーチして行って、解答をつめる

ということを行います。

選択肢を先に読んでおくと、本文の該当箇所を見つけやすくなります。

特に、名詞は言い換えしにくいですので、サーチに使いやすいです。

本当に必要な情報をじっくり読めばイイのです。

がつつ、関係のないところを読んでいたら、普通の受験生には時間足りないですからね。

この強弱をつける読み方を、「スキミング」と言います。

あくまで、設問に答えたいがために読んでいるということを忘れないでください。

力の入れ具合をうまくするだけで、時間をかなり短縮できます。

設問のリード、選択肢を中心にして、本文の読み方を構成していくのです。

本文をざっと読んで…なんてやり方は、実力者のやり方。

でも、力がついて、スキミングをうまく使うのです。

じゃないと…

また、時間が足りない&肝心なことを読み取っていない&根拠をつかんで選んでない(テキスト一つでこと)という感じになっちゃいますからね。

リード文だけ読んで、答えを本文でサーチするやり方はマズイです。

選択肢を見た時、ズレたことを内容としてとらえてしまうことがあるからです。

絶対、選択肢も読んでから、本文サーチしてください。

(4) 音読のススメ

音読は、英語力を飛躍的に総合的にアップさせるお金のかからない方法だと思います。

英検1級を目指す人、TOEIC 高得点を目指す人だってやっているのですよ。

音読の効果は続けないと分からないので、3ヶ月続けてみてください。

覚醒されます(スピード、正確さ、暗記がパワーアップします)

英語が怖くなくなります(←心理的不安が英語できない最大の要因なのです)

センターの本文を音読したら…受験生として、基礎が完璧になります。

ほんとかな…なんて疑っている間に、意味の分かった英文を音読してみてください。

英語がしみこむのを少しずつ実感できます。

音読をやるときは、意味の(かたまりの)切れ目を意識してやってください。

アタマの中に反射で意味が出ることを意識しながら音読してください。

意識しながらでなくて、英語で意味がわかるようになるまで、同じ本文を繰り返してください。

飽きたら、違う文章に切り替えてもイイですけど、またその本文にはもどってきてください。

やっていくうちに分かるのですが…

勝手に暗誦できるようになっています。

ということは…

英作文や語順に対する慣れを要する語句整序や、展開ごとアタマに入ってくるので、パラグラフリーディングにまで簡単に応用できるようになってきます。

毎日の音読があなたに英語革命を起こします！！

英語の理屈＋感覚＝すごい点数

でも、音読って面倒なんですね…

それでも、受験勉強の貴重な時間を割いてでも、あなたの普段の英語の勉強をムダにさせないために、偏差値を劇的アップさせるために、

音読は絶対やるべきです！

(5) 英文を読むときの注意

①日本語の助詞(つなぎのひらがな)に気をつけましょう

②要するに〇〇ということを考えましょう

スラッシュリーディング(あたまから、かたまりごとに意味を区切って読む方法)であろうが、返り読み(前から、後ろから訳しながら、日本語を整えて読む方法)であろうが、避けて通れないことなのですけど、ほとんどの受験生は、全く意識をしていませんね…

だから、読んでいても、内容が正確につかめず、何を書いていたのか忘れてしまうのです。

具体的に説明してみましょう。

Scientists estimate that eight thousand years ago rainforests covered approximately 60 million square kilometers of the Earth's surface.

という英文を読んだときに、

「科学者、見積もる、8000年前、熱帯雨林、カバーした、およそ6000万平方キロメートル、地球の表面」

のように、単語を並べてしまう人が、実は大半なのです…

確かに何を言っているのかを、常識判断すれば、意味が分かるのですが…

推測で英文を読むのは、ある程度の常識と国語力を必要とし、100パーセント正しいのか怪しいです。

助詞とツッコミが足りないのですよ。

補いながら読んでみます。

科学者は見積もる(何を?)8000年前には、熱帯雨林がカバーしていたことを、(何をカバーしていた?)およそ6000万平方キロメートルを、(何の面積?)地球の表面の

理解しやすくなったと思いませんか?

文法力が必要なことに気がつきますね。

that 節が estimate の目的語、60~ago までが副詞のかたまり

以下が SVO の構造

of 以下が直前にかかるパーツ

これらを瞬時に判断しながら、**助詞を正確に補ってください。**

そして、

()内の日本語のような、ツッコミを入れて読むとリズムが取りやすくなりますよ。

さらに…

「要するに何を言いたいのか?」をまとめてから、次の文に進んでください。

この場合は、

「昔は熱帯雨林多かったんだあ」

ととらえて、ひとまとめの簡単な表現にしておくこと

そうすれば、次の英文との関連性が見えやすくなります。

「今はどうなんだろう?」

というような展開に対するツッコミまでアタマに浮かんできますよね。

とりあえず国語力がいるのです。

だから、日本語でも、英語でも、一文読んだら、必ず、さっとまとめてみてください。

できる人は、無意識にやっていますからね。

長い一文、長い長文、とにかく、いつも、「要するに〇〇」と考えるクセをつけると…

読みが安定していき、設問への対処が見違えるほど良くなりますよ!

(6) 英文法・語法を強化する

英文法、語法、イディオム、会話表現等の勉強は真面目にやってください!

Next Stage あたりに収録されているものなら、知っていて当然レベルです！

寸前で、詰め込む人がいますけど…はっきり言って、そんなことしていたら、いつまでたっても英語が伸びてきません！あくまで、英語は、トータル勝負です。

理解して、覚えてしまえば、使えるもの(=得点になるもの)を放っておいたら、合計点は伸びませんよね？

語句整序なんかも配点高いですよ(1問4点、しかも完答)。

正誤問題も難関大学なら、数多く出ますし(センターは今のところ出題されていませんが…)

知っていればできる問題を放置している姿勢には、かなりの問題アリですね

なにより、長文の点数が伸びてこないのです。

英語長文をすべて分析的に読む必要はありませんが、設問がついて、問われたら、ハナシは別です。

文の流れに正確な知識を当てはめることができなければ、大学入試は解けないですよ。

正確な最低限の知識がなければ、英語は、カンになってしまいます。

そんなことで、高得点が入試本番で確実に出せますか??

センターなら、文法が直接関与している部分の配点は35点前後ですが、70パーセントくらいしか取れていない人は、やはり、読解も不正確ですよ。

こういう知識系は付録なんかじゃないのです。

何度も何度もしみこませて、体得すべきところなのです。

英語から逃げてはいけません！！

めんどくさそうなこういうジャンルを、しっかり得点できる能力は、絶対に身につけてください。

英語は、面倒なだけで、問題は易しいのです。

難関大学の英語も、例外なく易しいのです。

数学みたいに、誰が解いても解けないだろうという難問なんて、英語にはありません。

だからこそ、やりこんで、正確な知識を身につけた人には勝てないのです。

英語はトレーニングの結果点数が上がるものだから、何度も歯を食いしばって、面倒なことに立ち向かってください！！

英語から逃げる=不合格になる

ことを意味します(配点が高い&簡単だから)。

英語は毎日毎日コツコツやってください！

(7) 長文に慣れる

英語の長文を分析的に読むことはとても必要ですが、そんな時、犠牲になるものがあります。

それは、**長文に対する慣れを作るために大量に読み込むという姿勢です。**

英語はあくまで語学ですから、大量にこなすことによる慣れは必須です。

膨大な量を受験期に行うのは、ムダという意見がありますが、毎日、5文くらいの長文を読むのは、レベルを下げれば可能です。

英語を理屈でとらえることは、とても大切です。

しかし、読み込みの量を増やさないと、うまくいかないのも事実なのです。

毎日毎日英文に触れるのは大変だと思いますが、3日触れないだけで、英語を読む力は急速に下降します。

特に英語力が固まっていない時こそ、面倒なので英文を読むことを休みがちになりますよね。

それでは、結局振り出しに戻っているだけなのです。

必ず毎日英文に触れてください。

1日くらいイイだろう…

なんて思ったら、次の日も言い訳して、結局読まなくなりますよ。

読む材料は、横に日本語が書いてあるようなものでもかまいません。

(速読英単語なんかはおススメですよ)

まずは、気軽に読むことって大切ですよ。

すぐに効果を実感しませんが、ある時急に分かりだしてきます。

そして、ドンドン読み進めるうちに英語に対する自信がみなぎってきます。

英語をさまたげる1番の敵は「恐怖心」です。

分からない単語が出てきたらどうしよう…

こんな長い英文読みきれぬのか…?

こういう気持ちに打ち勝つだけの練習を重ねるしか選択はありません。

毎日毎日飽きても読んでください。

簡単な長文？から少しずつレベルを上げていき毎日毎日成長して行ってください。

(8) 東大英語過去問演習のススメ

センター英語は、しっかりと読解できれば高得点が確実に手に入るつくりとなっていますが、センター英語は選択肢等が精巧にできているため、なかなか高得点を出せないのが現状です。

読めたのに…できたはずなのに…試験後はイイ感触だったりするのに、採点してみると…

要求に正確に答える、そして、要求に応じて必要なことがらを本文で読み拾う

これを短時間で行っていくためには、判断力、国語力、といった英語力プラス α の力を養成しておく必要があります。

でも、英語の勉強にこういったものを組み入れていくのは、時間の少ない受験生には、なかなか難しい課題となります。

そこで、センターと同レベル+それ以上の思考力を必要とし、センターレベルプラス α の英文で構成されている大学入試の問題を紹介します。

それは、

東京大学の入試問題です。

え？東大？

と思っている人は、東大英語を見たことがない人だと思います。

東大の英語は、単語、英文レベルはそれほど難解ではありませんが、設問レベルをしっかり練り上げており、思考力がとてつ問題の数々となっております。

しかも、問題バリエーションが豊富で、じっくり腰を落ち着けて考える時間を与えないくらいの分量を1回の試験で出します。

状況が、センターに似ていると思いませんか？

他大学だと、語彙レベルや英文の質が難解であったり(特に京大英語)、変に選択肢がトリッキーだったりして、あまりセンターとの相性はよくありません。

むしろ、無駄な語彙を詰め込まされて、肝心の思考力強化につながりにくいものが多いと思います。

その点、東大の問題は、英語の基礎学力をしっかり聞くスタイルの問題なので、一般的な受験生すべての人におすすめできるものに仕上がっています。

悪問、奇問は一切なく、基礎学力を充実させてきた受験生が高得点を出せるように構成されています。

東大問題で鍛えてから、センターの過去問を見ると、問題形式は違うが、問題の方向性が同じことに気がきます(深さがだいぶ違いますが)。

高2の生徒にも、安心して取り組める演習内容になっています。

マーク模試のような、ただの形式慣れのような雑な問題を何問解いても、センターのウマさにはかきません。

センターよりウマイ工夫された東大英語をやりこむと、センターのワナが簡単すぎるひっかけに思えてきますよ。

学校採択のセンター演習問題、模試の問題は、あくまで、英語に慣れる、量に慣れる問題というだけで、センターの点数を本番で上げてくれるものとは程遠いことを忘れないでください。

センターの過去問と東大の過去問は、これから受験するセンターとの相性がいいベストパートナーですよ。

東大の英語25ヵ年(教学社)

は、1冊に分野別に問題を配列させた、演習しやすい書となっています。

これがあれば、普通の赤本は、受験する人以外必要ないと思います。

2. センター英語の解法視点

(1) センター英語の解法視点その①

2014年のセンター英語で、第3問の形式に変化がありました(見かけの変化ですが…)。

Bに登場した「取り除いた方がよい一文」を選ぶ問題です。

読んで意味のつながりを追いかけていくと意外と泥沼にハマる形式なので、ちょっとした着眼点を与えてみたいと思います。

(→2015のセンターはココがグレードアップした問題になると思います)

パラグラフを構成させる基本として**キーワード**のつながりがあります。

2014年の本試のBの間1では、ここを尋ねています。

キーワードとは、**数詞と名詞のトピックワード**です。

1行目で **many questions** を与えていますので、ここを展開の軸にすべきなのです。

そうすると

①は体重のことを言っていて

②③は **questions** への親の対応が書いてあり

④はこれにより子供は発達する

流れになっていますので

明らかにジャマなのは①ですね。

今回は、数詞はそれほど関係ないですが、次回はそこに着目させることも考えられるので、注意が必要だと思います。

他に、**指示語つながり**も大切ですがここを見破るには相当ミクロな視点が必要となりセンターとしては第3の手として考えたいです。

ダイナミックに捉える視点を見出すなら**時制の統一性のチェック**ですよ。

→論文では時制のチェックを怠らずに読んでおかないといけないのです。

(現在が大切／過去は現在を支える対比データ)

→パラグラフでは、時制には、それなりに一貫性をもたせるのが普通です。

2014年本試のBの間2を見てみましょう。

①現在進行形→ここは今

そのあと **however** で反転させて

現在進行形→**今 & 近い未来**

②未来

③現在 ← ?

④未来

時間の流れとして③はジャマですね。

2014年本試のBの間3を見てみましょう。

①命令文 → 現在 or 未来

次の文は現在

②未来 (soon があります) ← ?

(can だけだと現在 or 未来)

③現在

④現在

時間の流れとして②はジャマですね。

.....

↓ここからは2014年追試についてです

.....

問1は

キーワード操作ですね。

sleepを一文めで与えているので、ここを展開の軸にしています。

①sleep

②sleep

③長生き ← ?

④sleep

→ジャマなのは③ですね。

ちなみに時制として見てみると

①may → 現在 or 未来

②can → 現在 or 未来

③現在

④現在

ということで判断はできません。

問2は

時制の統一性ですね。

命令文→現在 or 未来

can→現在 or 未来

①現在完了→過去から現在←？

②現在

③may→現在 or 未来

④can→現在 or 未来

→ジャマなのは①ですね。

問3は

キーワード操作ですね。

一文めで hand-opened can opener

を与えておいて、そこを展開の軸にしています。

①electric なやつ←見ジャマそう…

②しかし manual can opener

in fact→実例

③manual can opener

④electric なやつ←これジャマ！！

manual can opener

つまらないヒッカケがありますが、④がジャマなのは分かりますね！

時制観点だと、全部現在なので、判断はできないですね。

マーク模試は、こういう観点では作られてないのでちょっと練習するのは難しいかもです。

(2) センター英語の解法視点その②

グラフ長文は、必要なことを見極めて、検索しつつも解く！

という姿勢です！！

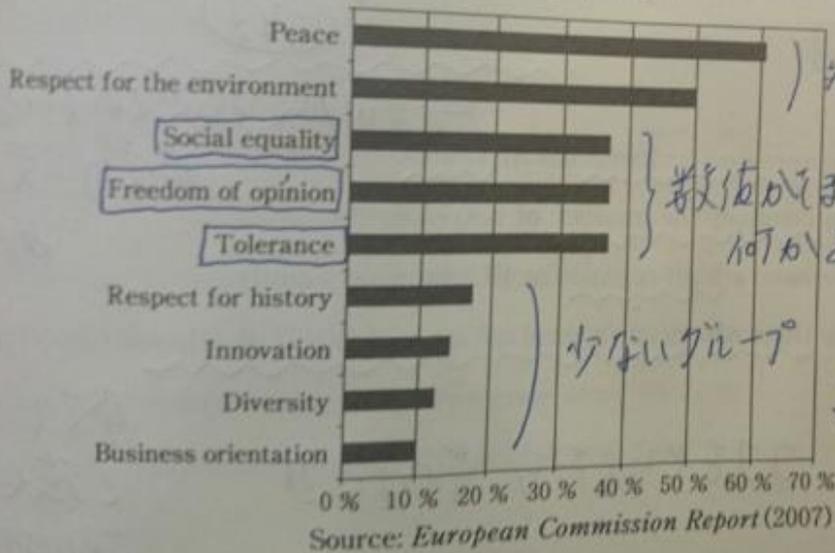
2011年本試験 第4問Aで、処理してみます。

写真の青字は本文を読む(サーチする)前の姿勢を書いています。赤字は、解答へのアプローチです。

本文を読む前にグラフをよく観察しておく!!

(EU) 社会的価値観
Key Societal Values in the EU

→ タイトル/変化など



多いグループ

数値がほとんど同じ!!
何かあるのかな...

少ないグループ

* グループが3つあるよ

問1 Which of the following is the most appropriate for 35 ?

- ① diversity
- ② innovation
- ③ peace
- ④ tolerance

本文での空所補充は
直前・直後のヒントを活用!

↓

本文中の71 = 空所に取りかかろう!!
(⇒ そしてグラフへ!!)

問 2 Which of the following statements is true?

36

- (⇒ そしてグラフへ!!)
- ① Greek values regarding tolerance closely follow the EU member trend.
- ② People in the EU now believe that business orientation is more important than respect for history.
- ③ Respect for the environment is less than the three least commonly selected values combined.
- ④ The Netherlands and the UK share a similar view concerning freedom of opinion.

片語同, 別語同には
めっちゃ注意を払う!!

選択肢を先読みして、何が問われているのか?
選択肢同士の違いはあるのか? めっちゃ気にして本文へ
こんな風で

グラフの最後の設問はグラフと最終パラグラフに根拠あり

問 3 According to the writer, what is needed to become a good communicator?

37

- 何が必要?
- 目的
- ⇒ 細かく指定されているので
- ① To agree on a shared set of values.
- ② To consider the number of respondents.
- ③ To have a high regard for EU member countries.
- ④ To think about one's own values and those of others.

動詞同は
とれも
思ふ系

本文の一文にスパ
ありそう

何について? コレとらえたら、解ける!!

↓
本文でコレが重要
と強く書かれて呼
こくは問えない!!

ここまでは、本文を読む前のチェックです。

ここからが、解答へのアプローチです。

(問1)

第4問 次の問い(A・B)に答えよ。(配点 30)

A 次の文章とグラフを読み、下の問い(問1～3)に対する答えとして 35 ~ 37 に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

When people communicate, they usually assume shared values. But in fact, there are often notable differences in the values recognized by particular groups of people. For example, while many people within the European Union (EU) agree on several common values, there are differences among their countries.

A 2007 European Commission report identified clear examples of these similarities and differences. People from various countries were asked to choose which values they consider important in their society. As shown in the graph, a majority of the respondents in the EU considered peace important for them (61%). This was followed by respect for the environment, which was selected by exactly half of the respondents.

However, when the results were compared by country, a different picture emerged. Although overall, social equality, freedom of opinion, and 35 were equally valued, differences were noted among countries. For example, freedom of opinion was selected by 37 percent of all respondents, but more highly valued in the UK (55%) and the Netherlands (52%) than elsewhere. The greatest variation was found in the results for how people regard tolerance, which was selected by 60 percent in the Netherlands but by only 11 percent in Greece.

Source: European Commission Report (2007)

問1 Which of the following is the most appropriate for 35 ?

① diversity
② innovation
③ peace
④ tolerance

問2 Which of the following statements is true? 36

① Greek values regarding tolerance closely follow the EU member trend.
② People in the EU now believe that business orientation is more important than respect for history.

Handwritten notes:
「この文章とグラフを読み、下の問い(問1～3)に対する答えとして 35 ~ 37 に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。」
「この文章とグラフを読み、下の問い(問1～3)に対する答えとして 35 ~ 37 に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。」
「この文章とグラフを読み、下の問い(問1～3)に対する答えとして 35 ~ 37 に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。」

(問2)

When people communicate, they usually assume shared values. But in fact, there are often notable differences in the values recognized by particular groups of people. For example, while many people within the European Union (EU) agree on several common values, there are differences among their countries.

A 2007 European Commission report identified clear examples of these similarities and differences. People from various countries were asked to choose which values they consider important in their society. As shown in the graph, a majority of the respondents in the EU considered peace important for them (61%). This was followed by respect for the environment, which was selected by exactly half of the respondents.

However, when the results were compared by country, a different picture emerged. Although overall, social equality, freedom of opinion, and 35 were equally valued, differences were noted among countries. For example, freedom of opinion was selected by 37 percent of all respondents, but more highly valued in the UK (55%) and the Netherlands (52%) than elsewhere. The greatest variation was found in the results for how people regard tolerance, which was selected by 60 percent in the Netherlands but by only 11 percent in Greece.

Such differences in values can cause misunderstandings in communication between people with different backgrounds. To put it another way, to improve communication, it is important to recognize differences in values. Therefore, to become effective communicators, people should reflect objectively on their own values.

Source: European Commission Report (2007)

問1 Which of the following is the most appropriate for 35 ?

① diversity
② innovation
③ peace
④ tolerance

問2 Which of the following statements is true? 36

① Greek values regarding tolerance closely follow the EU member trend.
② People in the EU now believe that business orientation is more important than respect for history.
③ Respect for the environment is less than the three most commonly selected values combined.
④ The Netherlands and the UK share a similar view concerning freedom of opinion.

Handwritten notes:
「この文章とグラフを読み、下の問い(問1～3)に対する答えとして 35 ~ 37 に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。」
「この文章とグラフを読み、下の問い(問1～3)に対する答えとして 35 ~ 37 に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。」
「この文章とグラフを読み、下の問い(問1～3)に対する答えとして 35 ~ 37 に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。」

(問 3)

selected by exactly half of the respondents.

However, when the results were compared by country, a different picture emerged. Although overall, social equality, freedom of opinion, and 35 were equally valued, differences were noted among countries. For example, freedom of opinion was selected by 37 percent of all respondents, but more highly valued in the UK (55%) and the Netherlands (52%) than elsewhere. The greatest variation was found in the results for how people regard tolerance, which was selected by 60 percent in the Netherlands but by only 11 percent in Greece.

Such differences in values can cause misunderstandings in communication between people with different backgrounds. To put it another way, to improve communication, it is important to recognize differences in values. Therefore, to become effective communicators, people should reflect objectively on their own values.

Handwritten notes on the left page:
 - 二かいう副詞 形容詞を のかす付!!
 - (手紙)
 - 肉了 せん!!
 - 目的
 - 考え
 - 客観的に (比較対象!!)
 - 必要!!
 - 人々は自身の価値観を認める (自分+他人)

Handwritten notes on the right page:
 - ④
 - 問 2 W
 - ①
 - ②
 - ③
 - ④

グラフの最後の設問はグラフと最終パラグラフに根拠あり (のことがあり)

何が必要?

問 3 According to the writer, what is needed to become a good communicator?

37

目的

⇒ ④ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① To agree on a shared set of values.
 ② To consider the number of respondents.
 ③ To have a high regard for EU member countries.
 ④ To think about one's own values and those of others.

Handwritten notes on the left page:
 - 動詞は とれも 思ふ系
 - 何について?
 - 強く喜んでいた!!
 - ①②とらえたら 前行ける!!

Handwritten notes on the right page:
 - 本文の一文にスペースありそう。
 - 本文でこれが重要と強く喜んでいた!!
 - ここは問えない!!

(3) センター英語の解法視点その③

選択肢の内容だけ注目していると、実は痛い目に遭います。

影の主役に注目してみると、断然正確さが違ってきますよ！

①代名詞

②名詞の単数複数

③助動詞

④副詞

⑤動詞の方向性、ベクトル

⑥形容詞の色

⑦前置詞の方向性、ベクトル

⑧主語

⑨理由、目的

とくに①～④は見過ごしがちなので

よく注意しておいて下さい！

(4) センター英語の解法視点その④

センター英語の長文

→第3問以降

では、1つの設問のリード文と4本の選択肢すべてを丁寧に読み、いったん答えのあたりをつけてから

→明らかにおかしいのも混ざっています

そして、選択肢の違いを把握して、簡潔に違いをおさえて、本文で必要な箇所(強調されてるところなど)を正確に読み、ベクトルを掴み答えを選ぶ。

という手法を取ってみて下さい。

センターは細工がうまいため、

リード文を読む

本文を読む

内容を頭でまとめる

選択肢を選ぶ

というやり方では、あと少しのところ引っかけられたり、下手すると答えをえらぶポイントが分からなくなったり、いくつかの選択肢が答えに見えたり、という症状に陥り

大問で1つ～2つはミスをしてしまう可能性があります。

スピードを上げれば上げるほど、焦れば焦るほど、このワナに陥ります。

下手に学力がある人ほど、完全に英文を読み切ろうとして、余計な情報に惑わされ、このワナに陥ります。

正解を選んでから、パラグラフを読み直して確信を得るくらいでちょうどよいですよ！！

物理的な速さと、確実に正解を選ぶ力を得たいなら、是非ともこうしたやり方に慣れて欲しいものです。

中途半端にクソ真面目に取り組むことは、センターからすればいいカモですからね！

ハッキリ言いますと、読む量を意図的に減らすことが出来る人がスピードと正確さを兼ね備えた受験生なのです。

ここをよく考えておいてくださいね！

3. センター英語の実戦的解法

(1) 2008年本試験大問6 (その1)

(1) My niece, Ann, is in her third year at university.

She has recently started her job search.

When she entered the university, she wanted to be an architect and planned to apply for work in an architectural firm.

But as she prepared for her job search, she learned that the way people work has changed a lot in the last few years.

She discovered that much of the change has occurred because of what is called the IT Revolution.

The "IT(Information Technology) Revolution" refers to the dramatic change in the way information is perceived and used in today's world.

問1

Ann realized that people today work in ways unimagined before because ○○

- ①the amount of data on the Internet can no longer be dealt with effectively
- ②the demand for architects has risen sharply over the last couple of decades
- ③they think the impact of the IT Revolution is already a thing of the past
- ④they deal with information entirely differently than in the past

たまたま、問2の設問が第2パラグラフに関する問題だったので、この問1の設問は第1パラグラフに関する設問だろうと予測しました(こういう予測はセンターでは必要なことです)。

この英文を読むのにどんな意識をすればいいのでしょうか？

パラグラフを読み取る際には、中心(核と呼びますね)を意識する必要があります。

しょうもない情報に振り回されずに、必要な核をとらえるという姿勢が大切です。

どうすればとらえることができるのか？

その一部を紹介してみましょう！

注意すべきことは、

ディスコースマーカー(文章論理シグナル)という文と文の関係を論理付けるマーカーに注目することと、それを生かす視点です。

そして必要なことを最低限にとらえながら読み進めるには、構造におけるSVOCをとらえつつ、修飾の圧縮(削除)していく必要があります。

さらには、=、⇔、⇒

の3つの記号の操作があると、仕組みがよくわかるようになります。

この問なら、慣れたら1分かからず解答できますよ。

では、やってみましょう！！

ちょっと長いので、必要なことを赤字にします。

(1)My niece, Ann, is in her third year at university.

She has recently started her job search.

When she entered the university, she wanted to be an architect and planned to apply for work in an architectural firm.

But as she prepared for her job search, she learned that **the way people work has changed** a lot in the last few years.

She discovered that **much of the change has occurred**

because of what is called **the IT Revolution**.

The "IT(Information Technology) Revolution" refers to **the dramatic change** in the way information is perceived and used in today's world.

But までの情報は軽いエピソードなのでカットしました。

(But 以下が重要なのは知っていますよね?)

as～は副詞節なので、内容的に軽いため、カットしました。

(副詞節の内容に論の中心はありません⇒必要なら後で読みましょう)

that節の中身は筆者の頭の中の思考を表します。

だから、チェックしました。

いらぬ副詞タイプの修飾語句はいったんスルーしました(必要なら後で読みましょう)。

because of ～ は、← なので以下を原因ととらえて読みました。

refer to は = の記号なので以下をチェックしました。

形容詞は筆者の主観が入る(以下でその内容を説明する義務があります)ので、dramatic はしっかりとらえておきます。

これにより、

働く方法が変化してきた←IT革命＝劇的な変化

という内容が見えましたか?

ここでのキーは、「(劇的＝プラス)変化」ですね。

問1

Ann realized that people today work in ways unimagined before

because ○○

- ①the amount of data on the Internet **can no longer be dealt with effectively**(下げ変化)
- ②the demand for **architects** has risen sharply over the last couple of decades(関係ない)
- ③they think the impact of the IT Revolution is already **a thing of the past**(変化なし)
- ④they deal with information **entirely differently than in the past**(過去より完全に違って)
- ④だけ、劇的な変化ですね。

このようなとらえ方をしていくのが実は王道なんじゃないのかな、と思います。

(2) 2008 年本試験大問 6 (その 2)

(2) Over the past 12 to 15 years, the amount and types of data available on the Internet and, in particular, the speed at which we can process the data, have increased to an extent few people could have imagined. These developments have led to new ways of thinking about how we use information and how we work in information-rich environments. Simply put, doing business no longer relies on location; new information-sharing software has made cooperation at a distance convenient and efficient.

問2 The statement "doing business no longer relies on location" implies that

- ① business people must be physically close to each other to do their work
- ② business people need to travel abroad more often in order to do their jobs
- ③ people feel that using information is more important than making profits
- ④ people who are not in the same place can successfully work as a team

この問題は、単にフレーズの意味を把握するだけで解けてしまう問題ですが、あえて、今後のために、この英文の追い方と、核のとらえ方を勉強してみましょう。最初の1文はカットします。

何故か??

2文めに、These developments have led to …があるからです。

These はそれまでの流れを、

まとめる or さらに先に流すための中継点

のどちらかの働きをします。

この場合は

lead to という ⇒の働きをする動詞がありますので

核は先にありますよ。

とらえていますので結果を追いたいわけです。

そこで、先を見てみると

new ways of thinking

とらえていますので、new に注目したいわけです。

この new は「新しい」という意味の、形容詞ですので説明の義務が生まれるわけです。

「新しい考え方」って何??

という発想で次の英文を読み取る必要がでてくるわけです。

そうすると、

Simply put 「簡単に言うと」

という言い換えのディスコースマーカーになりますので、簡単に言い換えているのが

doing business no longer relies on location

になるわけです。

ここの意味を正確にとらえてみると

rely on は ←の働きをする動詞です

no longer 「もはや～ない」今までとは違うという意味です

仕事をする←場所

という関係が成立しない。

つまり、「仕事をするのに場所なんて関係ないよ」

と言っているわけです。

(仕事をする＝同じ場所で

という図式が成立しなくなったということです)

なかなかこういう風にとらえるのが難しい人のために

;という

＝もしくは、選択

の記号を使って(今回は＝で使用されていますよ)

さらに説明を加えているわけです。

次の英文は

S make O C(形容詞)

を使って

S⇒O⇒C(Sは旧情報で、力点はありません、O⇒Cが核の表現です)

という流れを作っているわけです。

〇〇により、「離れた協力が便利になった」

と書いているのです。

パラグラフを整理すると…

最初の1文⇒新しい考え方＝「仕事に場所が関係ない」＝離れた協力が便利
となり

協力＝仕事とも判断できますね。

設問の「imply」は、直接本文に答えが書いてないから少しだけ推論を立ててください。

という「暗に意味する」という意味です。

難関大学(特に早稲田)が好きな動詞ですよ。

ということで、核をつかます意図がこめられていますね。

問2 The statement “doing business no longer relies on location” implies that

- ①business people **must** be physically close to each other to do their work(強制が?)
- ②business people **need to** travel abroad more often in order to do their jobs(強制が?)
- ③people feel that **using information** is more important than making profits(内容がズレています)
- ④people who **are not in the same place** can **successfully work as a team** (場所が関係ない & 協力便利(+))

助動詞にも注目するのが、この手の問題に対するコツにもなりますよ(本文では強制なんてしていませんでしたね)

答えは④になります

解くだけなら、瞬殺問題ですが、流れの押さえ方は今後のために参考にしてみてくださいね!!

(3) 2009年本試験大問3C(その1)

このゾーンは、いわゆる英文に空所があげられていて、文脈に応じた英文(フレーズ)を選択する問題なのですが、配点が高い上に、英文をしっかりと読んでいてもひっかけられてしまう。

そして、解答の基準が見えていない人も多いところらしいです。

理想は、「しっかり読みすぎずにすばやく解答を得る流れ」をあらかじめ作っておくことです。

「大きな流れを把握する」

「段落1つで1ネタ」

「前後に大きなヒント」

「時制と指示語に注意」

に意識を向けましょう。

慣れたら、2分あれば3問とも処理できると思います。

では、解説に参りましょう！！

パラグラフ1)

It has been said that nine out of ten people like chocolate and the tenth one is lying, but did you ever think about who gets the money you pay for your favorite chocolate?

In fact, the farmer who grows the cocoa beans and the farmer whose cows give the milk get very little of the money you pay. Most of it goes to the companies which transport the raw materials, turn them into chocolate, then package, advertise and distribute it to stores.

As a result, the cocoa and milk producers often live in very poor conditions

(空所 1).

イントロ導入⇒事例 (In fact)⇒結果

なので、結果だけ読み取ります。

「ココアとミルクの生産者は貧しい暮らしをしている」

空所がパラグラフの末にあるので、そのパラグラフのまとめ、または、次への前フリの役目をすることを意識する。

前文で、結果をまとめているので、ここでは、次への前フリととらえ、第2パラグラフの先頭を見ると

「Gというイギリスの町があつて、何かをススメている」

(encourage はプラスの奨励ですよ)とあるので、

貧乏な状況⇒改善

ととらえ、

選択肢

- ① Farmers in England have started to grow their own cocoa.
- ② **One small town in England is trying to change this situation.**
- ③ People take action in their local community to reduce the

price of chocolate.

④ There is very little that can be done to improve things.

②がすべて重なって合致！！

パラグラフ2)

Garstang, near Lancaster in England, is a town

which encourages stores to sell "Fairtrade" goods;

in fact, it calls itself "The World's First Fairtrade Town."

If you buy goods with the "Fairtrade" label, you can be sure that a reasonable part of the money you pay will go to the farmer who grows the raw materials from which your goods are made.

For example, money paid for "Fairtrade" chocolate goes to cocoa farmers in Africa.

People in Garstang became interested in "Fairtrade" when they began to look for a way to help these farmers.

The farmers complained that big chocolate companies were interested only in buying cocoa beans inexpensively, and not in whether the farmers had enough money to live.

One group in Gastang decided to (空所 2),

making sure the farmers could keep

as much of the profit as possible.

改善パラグラフで、何かをすることを決定したみたいで、その内容を聞いている。

分詞構文は付け足し説明なので、利用する

そうすると、

「農家ができるだけ利益の多くをキープできるようにする」

と読めるので、

②、③、④は利益キープのハナシではないので×

よって①が正解

中間搾取が多い状況を改善したみたいです。

選択肢

- ① **buy cocoa directly from the farmers and make it into chocolate**
- ② give money to poor African farmers who grow cocoa beans ×
- ③ return the chocolate to the cocoa farmers in Africa ×
- ④ supply cocoa beans to African farmers ×

パラグラフ3) チョコ

The chocolate sold in stores in Gastang with a special “Fairtrade” on it was more expensive than ordinary chocolate, but 82% of local people said they were willing to pay extra if they knew the money was being used to help people in a poor country.

Gradually, other goods came to be traded in this way.

パラグラフ4) ミルク

The next thing that happened was that local **dairy** farmers demonstrated in the center of Gastang.

They wanted (空所 3).

They pointed out that, **like the cocoa farmers** in Africa, **they also felt disadvantaged** by an unfair trading system.

They wanted more money for the milk their cows produced.

As a result, Gastang has become a center not only for fair trade with poorer countries, but also **for promoting locally produced goods**.

パラグラフ3はチョコ、パラグラフ4の酪農家という言葉から、ミルクを考えるべきなのは、パラグラフ1で述べられた通り、同じように苦しい彼らがしたかったことを聞かれています。

選択肢

- ① to become involved in the “Fairtrade” movement
- ② to be paid more for **the cocoa** they produced ×
- ③ to encourage **chocolate** consumption ×
- ④ to reduce the price of their **chocolate bars** ×

なんと、②、③、④はチョコ話

①が正解

同じように「公正取引」に参加⇒地方製品の販売促進の流れを読み取らせたかったみたいですね。

色をつけたところを、英文同士関連させながら見てください。

ポイントをおさえたら、センターは解きやすい仕組みですので、ラクに解けるようになります。

(4) 2009年本試験大問3C(その2)

逆接の使い方、副詞(節)の働きをうまく利用してみましょう!

パラグラフ1)

A role model is an ideal person whom we admire.

Role models may have various backgrounds and ways of looking at things.

However, they all inspire others through their actions.

I would like to introduce two people I admire.

文頭逆接で文意を反転させつつ高めますので

読み取ると、

「ロールモデルはみな、自らの行動を通じて他人を鼓舞する」

=ロールモデルの行動⇒他人に**イイ**影響

「**2人**紹介」

パラグラフ2) 1人目…CMさん

Mr. Chico Mendes is one of my role models.

He was born in the Amazon region in 1944 to a poor

Brazilian family that had farmed rubber from rubber trees for many generations.

They loved the rainforest and (空所 1).

However, mining companies and cattle ranchers **started destroying the Amazon rainforest** which is more than 180 million years old.

They burned and cut down hundreds of thousands of trees, endangering the living environment of the people there.

Chico began a movement that organized ordinary workers to oppose those harmful practices.

The movement (空所 2), **as Chico's efforts led people in other countries to protect** the earth's forests and the forests' native inhabitants.

Mr. Chico Mendes is a role model for me because of his courage, dedication and self-sacrificing work to protect not only the Amazon rainforest, but the natural environment of the entire planet.

空所1のあとが、rainforest を破壊する

なので、**逆接から**

空所1が、「rainforest を守る」となり、愛すると結ばれる

and の働きとのバランスもよい

選択肢(空所1)

① did not tell outsiders the location of their trees ×

② did not want strangers living anywhere near them ×

③ **protected** the indigenous **tribes** from being killed ×

(部族は関係ない)

④ used **its resources** in a way **that did not destroy it**

(資源は rainforest)

④が正解⇒「破壊しない方法でその資源を使う」

続いて、空所2の前後にアプローチします。

Cさんがある運動を**起こしはじめた**。

その運動は(空所 2)した。

ここでは、直後に続く副詞節のasの節に着目してみましょう。

asは同時進行を意味しますので**主節と密着して意味を添えて**いきます。

これもヒントに使いましょう！！

as節の中身の骨格をとらえると…

「Cさんの努力が**他国の人々に~を保護させていったので**」

ここで選択肢を見ると…

選択肢(空所2)

① **eventually spread to other parts of the world**

② remained basically a problem for Brazilian people ×

③ was especially concerned with global warming ×

④ was focused mainly on the Amazon rubber trees ×

①の**eventually(最終的に)**が、直前のbegan(始まった)

とのつながり、**世界の他の地域に広がったが、他国の人々に~**

とつながるので、①が正解となります。

パラグラフ3) 2人目…MJさん

「またロールモデル(先導して他人を鼓舞する人)の紹介だね」と、パラ展開を予測しておく！

Dr. Mae Jemison, the first Afro-American female astronaut

to travel into space, is my other role model.

Mae was born into a middle-class American family.

She entered university at the age of 16, and went on to receive degrees in Chemical Engineering, African-American Studies and Medicine.

She became a fluent speaker of Japanese, Russian and Swahili.

In 1992, she was the science mission specialist on the space shuttle Endeavour, on a cooperative mission between the U.S. and Japan.

(空所 3), **Dr. Jemison has used her education to improve the lives of others by providing primary medical care to poor people.**

She has helped countless people through various educational and medical projects.

空所3は

文頭部分で、直後にSVが出てきていることから、副詞句、副詞節の働きをするものが入る。

(ちなみに、空所3の位置に、タダの名詞がある時は、分詞構文と判断すること)

直後との文と密接な関係がある

そして、**MJさんは、ロールモデルで、他人へ影響を与える**

自分本位じゃない人なので、

この3点をとらえておくこと！！

直後の英文は…

「教育⇒貧しい人に医療ケア⇒他人の生活の改善」←考察！

という流れです。

(目的の不定詞で、ここでは「教育を使う」に繋がる、

by Ving は因果関係で、ケアを与える⇒生活改善)

選択肢(空所3)

- ① A compassionate person (同情深い人)⇒**他人への施し**
- ② Because she loved traveling (自分がトラベル好きなので)…**自分本位**
- ③ In order to gain experience(自分が経験を得るために)…**自分本位**
- ④ Wanting an adventure(自分が冒険したいので)…**自分本位**

ということで、

正解は①ですね(消去法でも大丈夫ですよ)。

直後とのつながりもよいです。

(5) 2011 年本試験大問 6

(1) Rats, mice, hamsters, and squirrels belong to a large group of animals called rodents. It is estimated that there are about 2,000 species of rodent, and they are believed to be one of the most successful group of animals we know. They are considered successful because the rodent group accounts for over 40% of all mammal species on earth. Of all the rodent the mouse-like rodents, such as those mentioned above, are probably the most successful, and it has been suggested that what makes them so is their teeth.

(2) Rodent' teeth enable them to eat a wide range of food, such as leaves, roots, nuts, and seeds. All rodents have four very sharp teeth at the front of their mouths – two at the top and two at the bottom. These teeth are called incisors, but unlike the incisors of most other mammals, they never stop growing. **So** whatever their age, **rodents will always have fresh, sharp teeth** to eat with. **In addition, they also have extremely strong muscles** around their mouths, which enables them to bite through the shells of nuts and seeds. Many other mammals and birds cannot do this, so the seeds they eat pass through their bodies undigested, and the nutrition within them is unused.

修飾部をとりあえず外しながら、骨格をとらえて読みつつ(ムダ読み厳禁ですからね！)

結論、逆接、追加のマークに注目しておくこと！！

(強調点ですから見落としのないようにね！)

何か書いてあって (→とりあえず不要)

S o で、これまでの結論… r o d e n t s は●●を持っている

I n a d d i t i o n で二つ目の意見… r o d e n t s は○○も持っている

以下は説明 (→とりあえず不要)

問 1 は

パラ (2) の中心を聞いている (細かい指定がなされていない) ので

細かいことには目を向けず

中心の 2 つの内容にだけ着目すればオーケー！

(問 1)

Paragraph (2) states that ().

- ① most birds and animals can also digest the seeds they eat
- ② mouse-like rodents are not as successful as other animals
- ③ mouse-like rodents cannot bite into the center of nuts and seeds
- ④ rodents **have four incisors** and **powerful muscles** around their mouths

●●と○○を持つ

と書いてあるのは、④だけです → 正解!!!

ここまでの処理で、1分です!!!

次は設問の指示が細かいから、設問のリードを読んでから、本文チェックします。

(問2)

In paragraph (3), which of the following is **NOT** mentioned as a benefit of eating energy-rich foods?

エネルギーリッチフードを食べる利点として述べられていないものは？

→他の3つは述べられている

→パラグラフ3から3つ探す

(3) Nuts and seeds are very nutritious. Some seeds, such as sunflower seed, sesame seeds, and peanuts, are very high in fat and protein. There are benefits of being able to eat these energy-rich foods: a lot of energy is gained in a short period of time; spending less time outside the home searching for food reduces the risk of being killed by other animals; and the time saved can be spent reproducing and looking after their young.

: は、つまり→直前の言い換え説明

; は、仕切り→3つ書いてあります。

たくさんのエネルギーが短い時間で得られる

家の外で時間を費やさない→殺される危険性へる

省かれた時間で、繁殖、世話ができる

- ① Eating food high in fat and protein helps rodents **develop muscular bodies**.
- ② It takes little time to get enough food to satisfy the body's energy requirements.
- ③ Less time is spent being exposed to the dangers of being eaten by another animal.

④ The time that is not spent searching for food can be used for raising a family.

①の後半（筋肉ボディーのこと）は書いてありません→正解！

名詞に着目すると、設問は速くさばけます（名詞はウソつけませんからね）

これも読む（探す？）量のバランス考えて1分処理です。

(4) Successful reproduction is essential to the survival of a species. **However** it can be **a double-edged sword**. **That is**, it has **good points** and **bad points**. Many rats and mice are eaten by other animals before they die of natural causes, **so being able to reproduce quickly is a good thing** as it increases the species' chances of survival. **For example**, a Norwegian rat could have 56 children and over 400 grandchildren within 20 weeks of being born. **On the other hand**, if reproduction is too successful and there is a huge increase in population in a short time, then **there will not be enough food** available for all of them to survive. When this happens, **thousands and thousands die, resulting in a population crash**.

However で反転させて主張… 諸刃の剣

That is, で「つまり」… 良い点と悪い点あり

so 「結論」

良い点… 繁殖速い

On the other hand 「一方」

悪い点… 十分な食べ物がないだろう→死ぬ→人口クラッシュ

文頭の副詞節（導入または前文までの内容を受ける）

文末の副詞節（条件設定なので必要なときは読む）

や、つまらない具体的な説明の部分はカットして骨格だけでとらえてみました。

助動詞の **will** まで選択肢に反映されている点も見逃さないこと。

あくまで、筆者サイドの予測です。

（あとの選択肢は「**is**」という断定になっているのって、おかしいよね）

（問3）

According to paragraph (4), ().

① the good point of having many young **is** that they exhibit different traits

② **the increase in the population of a species may** lead to **food shortage**

(プラスとマイナスを含んでいるのはこの選択肢だけです。

→ということは最初の2行でこれを選択できるよね)

③ the Norwegian rat **is** a good example of surviving food shortage

④ the population of rodents **is** kept down by natural death

というわけで、正解は、②です。

これも1分で片付けたいところです。

続いて(問4)です。

設問のリードを先に見てみると、

(問4)

Paragraph (5) discusses ().

d i s c u s s

「～について議論する」

とあるので

5パラの中心、方向性だけ見定めたら解けることを確認する。

(ちなみにstateなら「～をはっきりと述べる」という意味なので、内容が必要となります)

(5) **The survivors often survive, not** always by chance **but because they are slightly different from the general population in some way.** Perhaps they can run faster or further and so get to food before the other; or they have a better sense of smell and find food that others cannot; or they have stronger jaws and sharper teeth and can open nuts that others cannot open. Which of these slight advantages they have over those that die is not clearly understood; however, those that do survive have the opportunity to reproduce and pass on their advantageous traits to a new generation.

パラのアタマとオシリは重要 (←パラの流れをとらえる基本)

一文単位でも、オシリは重要

セミコロン直後の **h o w e v e r** は直前の文に対してだけの反転

→パラの流れをくつがえす逆接ではない！！！！

n o t A b u t B 「AではなくB」

ということで

生存できる理由がメインのパラグラフなので

- ① the breeding habits of rodents and other methods of reproduction
- ② the different kinds of successful rodent subspecies
- ③ the disadvantages that the surviving rodents face
- ④ **the possible reasons why some rodents survive population crashes**

④が正解です！！！！

possible は本文の次からの説明の perhaps（おそらく）に対応させて入れています

ここは30秒で解ける問題ですね。

さあ、ラストパラグラフの処理をしましょう！

(6) **So** together with their high rates of reproduction and the survival of those that have adapted in some beneficial way, **mouse-like rodents are in a strong position to survive** well into the future. **Ultimately, however**, what probably enables these mouse-like rodents to reproduce so successfully is the fact **that** their teeth allow them to eat highly nutritious nuts and seeds **so they do not have to spend most of their time engaged in the dangerous activity of gathering food.**

マーカーに加え **that** 節（筆者の思考を表すもの）をチェック！！！！

パラグラフ構成に注目すると、

～があって、**So（だから） rodents** は生存に強い立場

しかし、究極的には…があって、**so（だから） rodents** は危険な活動に従事するのに時間を使う必要がない。要因の違いを逆接で結んで同じ結論に持ち込んでいるのですね！

（問5）

The theme of the passage is about ().

- ① the advantages of using incisors for eating high energy food
- ② the mouse-like rodents and **the reasons** for **their success**
- ③ the relationship between the rodent population and the food supply
- ④ the rodents which account for the 40% of mammal species

ということで、正解は②でした。

これは、本文の構成を見抜くのに時間が少し必要なので、2分で解く問題ですね

ラストの問題は、各設問を解きながら同時処理をしていき、選択肢のならばにも注目しておくともダが減り、逆にパラグラフの内容を大づかみするヒントにもなります。

(問6)

The contents covered in the passage are listed at random below.

- (a) Sharp teeth and a powerful bite
- (b) The likely explanation for survival → 5パラ
- (c) Reproduction and population crashes → 4パラ
- (d) A background to mouse-like rodents
- (e) The advantages of high energy food
- (f) Conclusion

Which of the following best reflects the flow of the passage?

- ① (b) → (a) → (c) → (d) → (e) → (f)
- ② (b) → (a) → (e) → (c) → (d) → (f)
- ③ (d) → (a) → (c) → (b) → (e) → (f)
- ④ (d) → (a) → (e) → (c) → (b) → (f)

ということで、正解は④でした。

(6) 2012年本試験大問6 (その1)

問題文は割愛しています。実際に問題文と照らし合わせながら、以下の回折を読んでください。

問1

パラグラフ2についての言及ですので、パラグラフ1は本文全体のタイトル的なことかテーマになる単語の解説かを予想しつつ、選択肢の違いを把握してみます。

- ① 不快な仕事を忘れない
 - ② 具体的すぎるので論文の要旨には関係ないだろうと予想してトバス
 - ③ 異なった仕事を喜ばしいと思う
 - ④ 具体的すぎるのでトバス
- ①か③に絞って、本文の強いポイント

(逆接、結論、追加のマーカ―後、または具体マーカ―の前、疑問文、パラグラフのアタマとケツ、that 節…筆者の頭の中身)

を探ってみる。

パラグラフの構成は、基本的には3つ

(1)イコール説明のみ

(2)内容を時系列で変化させる

(3)一般論→逆接主張→その説明

ここも頭に入れつつ、本文をチェックしてみると、

2パラグラフ

逆接の However の後で、具体の For example の前をチェックすると、

It is important …

という重要だ、という箇所が見つかり that 節があるので、この部分が大切なことが書かれていると推定して読んでみると、

ある仕事が心地よいかどうかは個人次第である

という内容なので、選択肢の③が正解と分かる！！

ついでにBの問題の(2)も埋めておくと、今の内容から①(仕事の魅力)が入ると分かる

→最後の段落タイトル設問もついでにおさえておくと楽ですよ

問2

パラグラフ3についての言及

imply とあるので推論(直接書いてないけどそうだと分かるもの)なので、本文の方向性を定めたら良し！

①能力に自信がない人は仕事を早く始めるだろう

②能力に妥当な自信を持つ人はPしない

(Pは知らない単語なのでおそらく1パラで規定されてると見なす)

③仕事をする人の自信はPと関係ない

④カウンセラーと客の関係→なんか具体過ぎて…ダメっぽい

パラグラフ3

For example の前の文で、

「仕事をする能力における自信の量はPと関係している」

とあるので、選択肢③はダメなのが分かる

Pが気になるので、パラグラフ1で探してみると、3行目に

「される必要のある仕事を避けたり遅らせたりすることはPと呼ばれている」

と書いてあるので、内容をつかんでおく。

本文で

conversely(逆に)とあるので、直前とのセットにはなるが、ここだけで意味の方向性は取れそう、と予測して読んでみる。

「うまくすることができると思っている人は避けるよりもむしろチャレンジする」

くらいのことは読み取れるので、②が正解だと分かる。

強調点を仮に

最後の1文(should、逆接の副詞の though、that 節、追加の also があるので)ととらえたとしたら、

「多すぎる自信もまたPにつながる」

(→裏を返せば、少なすぎる自信もPにつながる)

とは読めるので、妥当な自信→Pにはならない

となり、やはり③は正解

そして、自信がない→P→遅らせる

なので①はダメ選択肢ということも分かります。

問3

パラグラフ4についての言及

①より年上の方はセルフコントロールを示す傾向がある

②人はたいてい努力なしにセルフコントロールを働かせる→ウソやろ！！

→×

③セルフコントロールは招待を受け入れたい気持ちである→？→×

④より若い人は誘惑に進んで抵抗しようとする→ウソやろ！！→×

今のところ①が候補！

パラグラフ4

マーカーがないので、アタマとケツをチェック！

ケツに that 節があるので読んでみると

「年を取れば取るほど仕事を遅らせないようになる」

さらに直前に

「年齢とセルフコントロールは関係ある」

とあるので、正解は①と分かる。

(7) 2012 年本試験大問 6 (その 2)

問 4

多くの人は老年のために **saving** し始めるのが遅い

その理由は？

saving はお金を貯めることだとは思いますがこの段階では、ぼんやりそう思っておこう

① 老年は時間においてあまりに遠いように思える、から

→ 今、ピンとこないんですね

② 老年までの時間の長さは変化する、から

→ イマイチ言いたいことが分からない

③ 心配事が他にある、から

④ ほとんど利益がないだろう、から

→ なぜ未来形なのだろう…？

パラグラフ 5

However があるので、それ以下を読み取る

パラグラフのケツを見てみると

「これが、なぜ多くの人が若い時に老年に備えてお金を貯め始めないのかを説明している」と、リードが反映されているのが分かる。

この前の 1 文が理由であり、答えであることが推定されるので、読んでみると、

「報酬があまりに遠い時に努力をする利益を見ることは難しい」

とあるので、①が正解ということが分かる。

ついでに B の (5) の設問もチェックしてみると、③が正解であることも分かる。

これで、

(6) は④が正解となり、読んでみると、P への対処方法とあるので、最終パラグラフはそのような内容になっていることを確認しておく。

問 5

筆者のメインの議論は…

①多くの人は4つのPの説明について賛成している

②Pをする人はもはや怠惰とは思われない→いや、怠惰でしょ(;´Д`)

→ダメ

③Pは社会の問題となってきた

→これが言いたいのかなあ…

④私達はPの源を理解することによってPをなんとかしていくことができる

→Bの(6)の設問から、これが正解っぽいことが分かる

パラグラフ 6

1文目が疑問文なので読んでみると、

「Pのルーツって何だろう？」

とあるので、ルーツ(根本)にでも迫ろうとしていることが分かる。

対比の **on the other hand** があるので、そこを読んでみると、

「もしPを問題だと感じたら、それを減らす最初のステップはその背後の理由を特定することだ」とあるので、④が正解と確定しました。

(8) 2013年追試験大問4 グラフ解法

グラフ問題では、グラフの意味を理解する

→質問に合わせて本文を検索して該当箇所を丁寧に読み取る

最後の内容一致?は

グラフの読み取り + α で解けないかどうかチェックする

判断しにくい選択肢などは後回しにしてしまうのもコツとなります。

たいてい、最初のパラグラフは無駄な説明のオンパレードですので、読まないほうがいいです。

グラフを観察してみると…

太陽系の惑星と表面温度の関係を表しています。

太陽から遠いほど温度が低いみたいですね。

問1から

水星～地球までは表面温度は+

火星～は表面温度は－

ということが分かります。

質問に likely とありますので

ありそう→予想→水星と金星の関係が書いてあるだけだろう

と思い、本文で水星と金星の表面温度の記述を検索します。

特にパラグラフの強いところ

結果、逆接、追加マーカー

パラグラフのアタマとケツを中心に名詞単語なども参考に探してみます。

パラグラフの結論マーカーのところに、

「金星は太陽から遠いけど表面温度は水星の2倍以上」

とあるので

問1は①が正解となり、以上という言葉から②はダメ

ということが分かります。

問2

「惑星の表面温度に最も強く影響を与える組み合わせは？」

とあるので

「最も」という言葉から、本文でも最上級の表現がなされてるはずです。

それをあてに探さないと、どうしてもいい要因を引っ張ってきってしまうことになってしまいます。

→センターは焦点を絞らないと無駄読みのオンパレードになるよう時間稼ぎをさせているのです

パラグラフ2のアタマに

最上級+factorがあるので読んでみると

「太陽からのキョリ」

とあり

「しかしながら」さらに反転させて、「他の要因がある」ともあるので、パラグラフ3のアタマをチェックして、

「大気」というのを見つけて、答えは②と分かりますね。

問3

グラフで解けないのか？

ということを中心にチェックすること！

①allが強すぎて気になりますが・・・

「ガスベースの惑星の全ては表面温度が-150度以下である」

ガスベースが気になるので、本文をチェックしてみると、パラグラフ4のところにガスを見つけ、

「太陽から遠い4つの惑星をガスジャイアントと呼んでいる」とあるので、グラフで右の4つの惑星の表面温度をチェックしてみると、全部が-150度以下でないのが分かりバツと判断する。

②違った惑星の表面温度はお互いに影響を与えている

→こんな選択肢はすぐに確認するのは面倒そうと判断して回避しておく

③水星の大気は金星よりCO₂を多く含む

本文でCO₂はパラ3に書いてあるのが検索で分かるので、強いところ(対比マーカーあり)をチェックしてみると、

「水星にはCO₂はない」とあるので、この選択肢はバツと分かる。

④0以下の表面温度を持つ唯一のTの惑星がある

→Tってなんや??

本文で定義されているはずだから、探してチェックしてみることにする。

パラグラフ4に

「太陽に近い4つの惑星をT惑星と呼ぶ」とあるので、グラフをチェックしてみると・・・

「火星だけが-なので」唯一という表現が整合しました

これが正解！！！！

ということで、②は間違っている選択肢みたいです。

→試験中の確認など時間の無駄でするので辞めてくださいね！

1文1文を上から読んでいくなんて色んな意味で無駄なことなので、検索技術をフル稼働させてみてください！

名詞をしっかりチェックしながら、強いところを確認していけば、センターは答えが出せますので、焦らずゆっくり探してグラフ等の判断をゆっくりしないと、くだらない引っ掛けに殺られてしまいますよ。

分数大丈夫かな？

確認しときましょう！

分子(普通の数字)→分母(序数)

の順に読みます

1/5 なら、one fifth または a fifth

→後半のやつを五番目って読んだらダメですよ(笑)

2/5 なら、two fifths

(1/5 が 2 つなので複数形)

1/2 は、a half

1/4 は、a quarter

(3/4 は、a quarters)

となります。

間にハイフン(-)を入れて表記することもあります

(two-fifths)

(9) 2013年追試験大問6 (その1)

問1

パラグラフ2は～を暗に意味する

→いきなり推論問題ですね！

方向性を捉えて選ぶのがコツでした。

また、パラグラフ1に問題が言及していないことから、何かの言葉の定義づけをしているみたいです。デジャブのことみたいです(前にこの場面に遭遇したことがある！というやつですね)

→デジャブを知らなければパラグラフを必要な時に読んでおけばいいですが、あくまで必要な時に、ですからね！

①デジャブはフランスではかなり普通なことである

→具体例はダメ！でしたね

②デジャブは研究に対して価値のあるトピックと考えられている

③人がデジャブを感じることをやめさせるために多くの研究がなされるだろう

→デジャブをやめさせないといけないのかなあ…？

それにこれだけ未来形なんだけど、何か意味があるの？

④デジャブを持つ人は自身の生活(人生)について考える傾向にある

バラバラな内容なので、大まかな違いをおさえて、パラグラフ2をチェック！！

パラ2

4行目に **however** を挿入させて反転しているので、ここを読んでもみると…

(以下の英文はここの説明になります)

「デジャブはかなり普通で、科学的研究の話題になってきている」

→正解は②ですね！

問2

パラグラフ3の男がデジャブを感じた理由は？

①彼は知らずにある物をすでに見ていた

→過去完了で1つ前の時間帯にズラしているところはよく見ておくべきところですね

②以前にある物にかなり注意を払っていた

③自身の所有物のひとつに似ている物を見た

④馴染みのある場所で予期せぬ物を見た

どんな状態で物を見たのか？が問われているみたいですね！

パラグラフ 3

具体例のマーカ―しかないなので、その直前つまりパラグラフのアタマが大事そう！

that 節の中身を読んでみる。

「馴染みの強い感情を持つ、ちょっと前にある物を「無意識に」見る時に」

→副詞を無視したらセンターにハマられてしまいますので注意ですよ！

「無意識に見る」ということから①が正解ですね！

ついでに、Bの(3)の設問は、無意識に見る系として、③が入りそうですね。

問 3

パラグラフによると、「デジャブは～な部屋で発生する」

①家具が色において自身のと似ている→色

②レイアウトがあなたに馴染んでいる

→配置

③あなたが以前見たアイテムがある

→アイテム

④あなたが以前いた

大きな違いを確認したらパラ 4 を読んでみる

パラグラフ 4

Thus で結論を述べていて、その that 節を読んでみることにする。

「もし私達が物の配置が以前にいた場所の配置と似ているなら、それをデジャブと呼ぶだろう」

→配置なので正解は②ですね！

ついでに B の(4)は配置系を探して⑤となりそう！

(10) 2013 年追試験大問 6 (その 2)

問 4

パラグラフ 5 の説明によると、

「脳の研究では～がデジャブを引き起こすことを示している」

- ①情報の加工における遅れ
- ②違った経路を通じて運ばれるデータ
- ③同時に違った情報を加工すること
- ④全イメージを目的地に送ること

違いは

「遅れ、データ、加工、送信」

ということみたいです。

パラグラフ5

結論マーカ어의 **As a result**

がありますので

そこを確認してみましょう！

「脳が～して、デジャブが発生する」とあるので

「脳が～して、」のところに解答の手がかりがありそう。

そこを訳してみると、

「その脳がひとつの経験を二つとして解釈し」

これでは解答への手がかりが薄い…

前文からのつながりで結論を向かえているので、前文の強いところ、つまり **but** 以下を読むと…

「時にはわずかな遅れがある」とあるので

正解は①と分かる！！

加工の面が気になるなら、2行目の **that** の中身に

「デジャブは脳内の情報の異常な加工によって引き起こされる」とあるので、つじつまはすべてOKとなった！

ついでに、Bの(5)はデジャブの理由を述べている①が正解となる。

問5

筆者が議論していることは？

①チカコのデジャブ体験は説明のどれにも合っていない

→具体的すぎるので、とりあえずダメっぽいとして保留

②デジャブはどのように脳が私達が見る情報を加工するのかを示しうる

→これはさっきのパラにもあったような…→正解候補！

③デジャブに関する研究は人がそれを避ける方法を学ぶことを助ける

→デジャブって、避けないといけないことなのかなあ…→ダメっぽい

④科学的調査に対してデジャブについて知られていることはほとんどない

too little ってほぼ0に近いんですけど…脳内での情報加工の遅れとか言っていたくらいやから、分かっていることもまあまああるやろう…→ダメっぽい！

パラグラフ6を一応見てみます。

アタマ…3つの説明が与えられてきた

ケツ…具体例的な疑問文

→前文から問題点みたい

中身が薄いので、真ん中あたりをパラパラ眺めてみると…

「デジャブについて学ぶことは…脳がどのように日常的な情報を扱うのかについて多くを表しうる」とあるので、②が正解の確信を得た！！

Bの(6)は残った選択肢から④が入りそう！→貢献は脳構造に対して

(1)は②で問題なさそう！

要領よくテキパキこなしていくのが大切ですので、読み過ぎ注意ですよ！

読みすぎるとかえって迷いますからね！！